

**Research Activity Report**  
**Supported by “Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science”**  
(Please be sure to submit this report after the trip that supported by PWS.)

2018. 6月, 7日	
<b>A f f i l i a t i o n / Position</b>	京都大学大学院理学研究科 / M1
<b>Name</b>	余田 修助

<b>1. Country/location of visit</b>
日本 / 京都
<b>2. Research project</b>
Advanced laboratory skills in field biology in Spring
<b>3. Date (departing from/returning to Japan)</b>
2018. 5月. 28日 ~ 2018. 6月. 1日
<b>4. Main host researcher and affiliation</b>
村山 美穂 教授, 京都大学野生動物研究センター
<b>5. Progress and results of your research/activity</b> (You can attach extra pages if needed)
Please insert one or more pictures (to be publicly released). Below each picture, please provide a brief description.
<p>今回の実習では、屋久島に生息するニホンザルのCOMT遺伝子やその多型についての研究を行った。</p> <p>今回の実習に参加するにあたって、遺伝子のデータを扱う際の技術を習得することや、遺伝子レベルでの研究についての知見を得ることを目的とした。</p> <p>今回の実習を通して、遺伝子解析に必要な実験操作を実際に経験することができた。また、遺伝子と行動との関連についての研究があるということや、その関連が少なくとも人を含む霊長類については確かに存在しているらしいということを知った。</p> <p>今回の実習で得た経験は、今後自分が遺伝的な解析をする必要が生じた時に大いに役に立つことが考えられるものである。また、今回得た遺伝子と行動との関連という知見そのものは、今後動物行動学研究室にいる自分が、行動に関する研究を行なっていく上で視野を広げてくれるものであると思われる。</p> <p>今回得た結果をもとに、The 8th International Seminar on Biodiversity and Evolution held on 5th June, 2018においてポスター発表を行なった。</p> <p>今回の実習に関連する写真は欄外に図1として添付する。</p>
<b>6. Others</b>

**Research Activity Report**  
**Supported by “Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science”**  
(Please be sure to submit this report after the trip that supported by PWS.)



図1:今回実習で解析したサンプルを収集するために調査した林道の一部